

四旬節
LENT

Caritas Japan カリタスジャパン

2021

今、わたしたちは

エルサレムへ上って行く

マタイ 20・18



四旬節「愛の献金」趣意書

この一年、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた世界は、いのちを守るための行動を選択せざるを得ませんでした。残念なことにその選択は、ともに集まって喜びや悲しみを共有することを困難にしました。

世界経済も大きな影響を受け、貧富の格差は拡大してしまいました。教皇フランシスコは、8月19日の一般謁見で、「社会内の不正義、不公平に与えられる機会、貧しい人を社会の周縁に追いやること、貧しい人への保護の欠如」を「より大きなウイルス」とまで指摘されました。世界的な感染症拡大の中で、残念なことに格差は拡大し、排除される人、忘れ去られる人は増大し、いのちは、感染症と格差拡大という二つの大きな要因で危機に晒されています。

その中で教会は神のいつくしみを体現し、排除するのではなく、互いに支え合い、優しさの内に連帯を促す存在として、希望の光になりたいと思います。

四旬節は、御父のいつくしみを、具体的に生きる時です。教会の伝統は、四旬節において「祈りと節制と愛の業」という三点をもって、信仰を見つめ直すよう呼びかけています。四旬節の献金は、愛の業そのものです。この四十日の間、犠牲の心をもって献

金にご協力くださり、教会の愛の業に参加していただきますようお願いいたします。

緊急災害援助にとどまらず、国内外において「いのち」の危機に直面している人々の支援、また途上国での少数民族の子どもたちの教育支援や女性の自立支援などのために、四旬節献金は重要です。カリタスジャパンが行う支援は、もちろん皆様の募金に支えられていますが、毎年支援の三分の一が、この四旬節献金によって支えられております。

今年の四旬節も、神のいつくしみを具体的に生きる時として、御父の愛に包まれ、豊かな心で過ごすことの出来るように、互いに支え合う中で生きる希望を生み出すために、四旬節献金にご協力下さい。

2021年2月17日 灰の水曜日
カリタスジャパン責任司教 タルチシオ 菊地 功
担当司教 パウロ 成井大介

2020年 四旬節献金総額

Total amount of the 2020 Lenten Collection

39,156,723 円

主な援助先

(円/Yen)

| | |
|---------------------------------|------------|
| キルギス Kyrgyzstan | |
| カリタスキルギス組織強化支援 | 2,447,400 |
| スリランカ Sri Lanka | |
| インドからの帰還者と プランテーション女性移住労働者支援 | 4,219,994 |
| モンゴル Mongolia | |
| カリタスモンゴル組織支援 2020 | 2,737,000 |
| エルサレム Jerusalem | |
| 医療支援 | 2,182,200 |
| マダガスカル Madagascar | |
| 灌漑用ダム修復プロジェクト | 1,619,616 |
| ケニア Kenya | |
| 洪水/地滑り/コロナ | 1,077,900 |
| 国際カリタス Caritas Internationalis | |
| 緊急支援要請 (23件) | 23,786,800 |

(2020年12月15日現在)

四旬節献金では、国内外で社会から疎外され、困難な生活を送っている人たちが自分たちの力で生きていくことができるための支援を行っています。

Your Lenten contribution is essential not only for emergency disaster relief, but also for development assistance here and abroad.

Caritas Japan's activities are supported by your donations throughout the year, and one-third of that annual support comes through this Lenten collection.

今年の四旬節小冊子は、四旬節「愛の献金」趣意書、2020年度四旬節献金報告、教皇メッセージ（四旬節福音箇所カレンダー）、2021年4月から2022年3月までのカレンダーとなっています。カレンダーの使用写真は、カリタスの支援先関連の写真（視察写真含む）を用いており、皆様からの献金による援助先ならびにカリタスの活動の紹介となっています。

In this year's Lenten Booklet outlines the meaning of the theme, Lenten donation report of the year 2020 and the message of the Holy Father. It is in the form of Calendar that starts from April of 2021 to March 2022. The calendar highlights pictures that introduce Caritas related activities of support and where your donation goes.

2/ 14日 Sun

2021年四旬節 教皇メッセージ
「今、わたしたちはエルサレムへ上って行く……」

(マタイ 20・18)

四旬節——信仰、希望、愛を新たにする時



©CBCJ

親愛なる兄弟姉妹の皆さん

イエスは、御父のみ旨をなし遂げるためのご自分の受難、死、復活を弟子たちに告げることで、その使命の深い意味を明らかにし、この世を救うために協力するよう呼びかけておられます。

復活祭へと向かう四旬節の道を歩みながら、わたしたちは「へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順」(フィリピ 2・8)

であったかたを思い起こします。この回心の時、わたしたちは自分の信仰を新たにし、希望の「生きた水」をくみ、開かれた心で、自分をキリストにおける兄弟姉妹にしてくださる神の愛を受け取りたいと思います。復活徹夜祭には、洗礼の約束を更新し、聖霊の働きにより、新しい人間として新たに生まれます。四旬節の旅は、キリスト者の旅全体がそうであるように、復活の光にすでに余すところなく照らされています。復活の光は、キリストに従いたいと思ふ人の心と姿勢と選択を力づけるのです。

断食、祈り、施しは、イエスが説教の中で示しておられるように(マタイ 6・1-18 参照)、わたしたちの回心の条件であり表れです。清貧と放棄の道(断食)、傷ついた人に対する愛に満ちたまなざしと行為(施し)、そして御父との親子の対話(祈り)によって、忠実な信仰、生き生きとした希望、活発な愛を具体的なかたちで表せるようになるのです。

1. 信仰は、神とすべての兄弟姉妹の前で、真理を受け入れ、
そのあかし人となるよう、わたしたちに呼びかけています。

四旬節の今、キリストにおいて明らかにされる真理を受け入れ、それを生きるということは、教会により世代から世代へと伝えられてきた神のことばが、自分に届くがままにすることにほかなりません。この真理は、少数のエリート知識人、上流階級、教養人のための知的構築物ではなく、

マルコ Mk 1・40-45

マルコ Mk 8・11-13

マルコ Mk 8・14-21

灰の水曜日(大齋・小齋)
Ash Wednesday

マタイ Mt 6・1-6, 16-18

ルカ Lk 9・22-25

マタイ Mt 9・14-15

ルカ Lk 5・27-32

四旬節第1主日
First Sunday of Lent

マルコ Mk 1・12-15

マタイ Mt 16・13-19

マタイ Mt 6・7-15

ルカ Lk 11・29-32

マタイ Mt 7・7-12

マタイ Mt 5・20-26

マタイ Mt 5・43-48

15月 Mon

16火 Tue

17水 Wed

18木 Thu

19金 Fri

20土 Sat

21日 Sun

22月 Mon

天皇誕生日

23火 Tue

24水 Wed

25木 Thu

26金 Fri

27土 Sat

わたしたちが受け取り、心の知力のおかげで理解できるメッセージです。わたしたちの心は、自分たちが気づく前から愛してくださる神の偉大さに向けて開かれているのです。その真理は、まさしくキリストです。わたしたちの人間性を最後まで身に受けてくださりながらも、道となられたかたです。険しくも、すべての人に開かれている道なるかた、いのちである神の充満へと導く道であるかたです。

放棄する体験としての断食は、純粋な気持ちでそれを行う人が、神の恵みにあらためて気づけるようにし、さらには、自分たちは神に似せてかたどられた被造物であり、神において充足を見いだすということを理解できるようにします。断食する人は、貧しさを受け入れるという経験を通して、貧しい人々とともに自ら貧しくなり、受けた愛、分かち合われた愛という富を「蓄えます」。このように理解され実践されることで、断食は、神と隣人を愛する助けとなります。聖トマス・アキナスが教えているように、愛とは、他者を自分と一体の存在であるとみなして他者に思いを寄せる行動なのです（回勅『Fratelli tutti（仮題：兄弟の皆さん）』93参照）。

四旬節は信じる時、つまり神をわたしたちの人生に迎え入れ、わたしたちと一緒に「住んで」いただく（ヨハネ14・23参照）時です。断食とは、自分を束縛するものから、あふれ返る情報——その真偽はともかくとして——や商品から、わたしたち自身を解放することです。すべてにおい

て貧しくとも「恵みと真理とに満ち」（ヨハネ1・14）、わたしたちのもとに来られるかた、救い主である神の独り子に心の扉を開くためにです。

2. 希望は、わたしたちが歩み続けられるようにしてくれる「生きた水」です。

井戸端で、水を飲ませてほしいとイエスから求められたサマリアの女は、「生きた水」（ヨハネ4・10）をわたしは与えることができるとイエスが伝えても、それを理解できません。当然ながら、彼女はまず、物質としての水を考えますが、イエスは聖霊のことをいっておられます。超越の神秘によってイエスが豊かに与えておられる聖霊、裏切られることのない希望を注いでくださるかたです。イエスはすでに、ご自分の受難と死を予告する際に、「人の子は三日目に復活する」（マタイ20・19）とあって、希望を告げておられます。イエスは、御父のいつくしみによって開かれた未来について話しておられます。主にあって希望し、主に感謝することは、わたしたちの過ち、わたしたちの暴力や不正義、愛なるかたを十字架にかける罪によって歴史は閉じられるのではないと信じることです。それは、開かれたみ心から、御父のゆるしをくみ出すことなのです。

何もかもがもろく不確かに思える、この不安に満ちた現状の中で希望を語ることは、挑発のように映るかもしれません。四旬節は、希望の時、わたしたちが幾度、手荒に扱っても（回勅『ラウダート・シ』32-33、43-

マルコ Mk 9・2-10

ルカ Lk 6・36-38

マタイ Mt 23・1-12

マタイ Mt 20・17-28

ルカ Lk 16・19-31

性虐待被害者のための祈りと償いの日
Day of prayer and penance for the
victims of sexual abuses
マタイ Mt 21・33-43, 45-46

ルカ Lk 15・1-3, 11-32

四旬節第3主日
Third Sunday of Lent

ヨハネ Jn 2・13-25

ルカ Lk 4・24-30

マタイ Mt 18・21-35

マタイ Mt 5・17-19

ルカ Lk 11・14-23

マルコ Mk 12・28b-34

ルカ Lk 18・9-14

3/1月
Mon

2火
Tue

3水
Wed

4木
Thu

5金
Fri

6土
Sat

7日
Sun

8月
Mon

9火
Tue

10水
Wed

11木
Thu

12金
Fri

13土
Sat

44 参照)、ご自分の被造物を気遣い続けてくださる神の忍耐強さに目を向け直す時です。それは、和解への希望です。「神と和解させていただきなさい」(二コリント 5・20)と、聖パウロが熱心に勧めているとおりです。わたしたちは、回心のプロセスの中心である秘跡によってゆるしを受け、今度は自分がゆるしを広める者となります。つまり、自身がゆるしを受けたことで、思いやりのある対話を続ける力を通して、ゆるしを差し出せるようになり、傷ついた人をいたわる行動がとれるようになるのです。神のゆるしは、わたしたちのこぼと行いによっても、兄弟愛に満ちた主の復活を実現させるのです。

四旬節の間、わたしたちは「人を辱めたり、悲しませたり、怒らせたり、軽蔑したりすることばではなく、力を与え、慰め、励まし、勇気づけることばを使うよう」(回勅『Fratelli tutti』223)、いっそう気をつけなければなりません。時には、「無関心がはびこる中で、自分の心配事や急ぎの用事を脇に置いて、相手を気遣い、微笑みかけ、励ましのことばをかけ、耳を傾げるために時間を割くことのできる優しい人」(同 224)になるだけで、希望を十分に与えることができるのです。

精神を集中し、静かに祈る中で、希望はひらめきとして、また心の光として与えられます。わたしたちの使命における、試練や選択を照らす光です。ですから、祈りに集中し(マタイ 6・6 参照)、優しい御父と隠れたところで会うことが必要なのです。

希望をもって四旬節を過ごすこと、それは、神が「万物を新しくされた」(黙示録 21・1-6 参照)新しい時代を、イエス・キリストにおいてあかしする者であると自覚することです。つまり、十字架の上で自分のいのちを差し出し、三日目に神によって復活されたキリストの希望を受けて、「抱いている希望について説明を要求する人には、いつでも弁明できるよう備えて」(一ペトロ 3・15)おくことです。

3. 愛は、一人ひとりを気づかい思いやりながら、キリストの足取りをたどって生きることであり、わたしたちの信仰と希望の至高の表現です。

愛は、他の人がよい方向に向かうのを見て、喜びます。だれかが孤独、病氣、住む場所のない状態、侮辱、貧困などによって苦悩していれば、愛も苦しむからです。愛は心の躍動であり、それがわたしたちを自らの外へと出向かせ、分かち合いと交わりのきずなを築くのです。

「人類愛から始めるなら、だれもがそこに招かれていると感じられる、愛の文明に向けて進むことができます。愛は、そのすべてに及ぶダイナミズムをもって、新しい世界を築くことができます。愛とは、何も生み出さない感情ではなく、すべての人にとって有効な発展の道を得る最高の方法だからです」(『Fratelli tutti』183)。

ヨハネ Jn 3・14-21

ヨハネ Jn 4・43-54

ヨハネ Jn 5・1-3a, 5-16

ヨハネ Jn 19・25-27

ヨハネ Jn 5・31-47

聖ヨセフ
Saint Joseph
マタイ Mt 1・16, 18-21, 24a △ルカ Luke 2・41-51a

ヨハネ Jn 7・40-53

四旬節第 5 主日
Fifth Sunday of Lent

ヨハネ Jn 12・20-33

ヨハネ Jn 8・1-11

ヨハネ Jn 8・21-30

ヨハネ Jn 8・31-42

神のお告げ
The Annunciation of the Lord
ルカ Lk 1・26-38

ヨハネ Jn 10・31-42

ヨハネ Jn 11・45-56

15 月
Mon

16 火
Tue

17 水
Wed

18 木
Thu

19 金
Fri

春分の日
20 (土)
Sat

21 日
Sun

22 月
Mon

23 火
Tue

24 水
Wed

25 木
Thu

26 金
Fri

27 土
Sat

愛はわたしたちの人生に意味を与えるたまものであり、愛によってわたしたちは、困窮している人を自分たちの家族、友人、兄弟姉妹として捉えます。愛をもって分かち合えば、わずかなものも決して底をつくことはなく、いのちと幸せのための蓄えとなります。このことは、預言者エリヤにパン菓子を差し出すサレプタのやもめがもっていた小麦粉と油（列王記上17・7-16参照）にも、イエスが群衆に配るために、感謝の祈りをささげ、裂いて、弟子たちに渡したパン（マルコ6・30-44参照）にも起こったことです。喜びと飾らぬ心で差し出すわたしたちの施しにも、その大小にかかわらず、同じことが起こります。

愛をもって四旬節を過ごすことは、新型コロナウイルスのパンデミックゆえに苦しむ人、切り捨てられた人、不安の中にいる人を世話することです。明日をも知れない状況の中で、神がご自分のしもべに言われたことばを思い起こしましょう。「恐れるな、わたしはあなたをあがなう」（イザヤ43・1）。わたしたちが愛のわざをもって、信頼に満ちたことばをかけ、子として神に愛されているとその人が感じられるようにすることができますように。

「愛によって視界を変えられたまなごしささえあれば、他者の尊厳に気づけるようになり、貧しい人は、そのはかり知れない尊厳のままに認められ、大切にされ、その人らしさとその文化ごと尊重され、真に社会に溶け込めるようになります」（『Fratelli tutti』187）。

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、人生のあらゆる場面が、信じ、希望し、愛する時です。回心し、祈り、財貨を分かち合う道として、四旬節を過ごすよう求めるこの呼びかけは、今も生きておられるキリストからもたらされる信仰と、聖霊の息吹によって駆り立てられる希望、そして御父のいつくしみ深い心をその尽きることのない泉とする愛を、共同体および個人としてのわたしたちの記憶に呼び起こす助けとなるでしょう。

十字架の下でも教会の中心でも忠実なかた、救い主の母マリアが、思いやりにあふれる姿で、わたしたちを支えてくださいますように。また、復活した主の恵みが、復活の光に向かって歩むわたしたちとともにありますように。

ローマ
サン・ジョヴァンニ・イン・ラテラノ大聖堂にて
2020年11月11日
トゥールの聖マルティノの記念日
フランシスコ

受難の主日 Palm Sunday of the
Passion of the Lord
世界青年の日
World Youth Day
マルコ Mk 15・1-39 △ 14・1～15・47

3/28日
Sun

ヨハネ Jn 12・1-11

29月
Mon

ヨハネ Jn 13・21-33, 36-38

30火
Tue

マタイ Mt 26・14-25

31水
Wed

聖木曜日(主の晩さん)
Holy Thursday

ヨハネ Jn 13・1-15

4/1木
Thu

聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎)
Good Friday

聖地のための献金 Good Friday
collection for Holy Land
ヨハネ Jn 18・1～19・42

2金
Fri

聖土曜日/復活徹夜祭
Holy Saturday

3土
Sat

復活の主日 Easter Sunday of the
Resurrection of the Lord

ヨハネ Jn 20・1-9

4日
Sun

マタイ Mt 28・8-15

5月
Mon

ヨハネ Jn 20・11-18

6火
Tue

ルカ Lk 24・13-35

7水
Wed

ルカ Lk 24・35-48

8木
Thu

ヨハネ Jn 21・1-14

9金
Fri

マルコ Mk 16・6-15

10土
Sat



人類の未来は、政治家や大物リーダー、大企業だけの手にあるわけではありません。未来は、他者を「あなた」と、彼らを「私たち」と認識する人々の手に委ねられています。

教皇フランシスコ

“The future of humankind isn’t exclusively in the hands of politicians, of big leaders, of big companies. The future is in the hands of those people who recognize the others as a YOU and themselves as apart of an US.”-Pope Francis

2021 4 April

| 日 Sun | 月 Mon | 火 Tue | 水 Wed | 木 Thu | 金 Fri | 土 Sat |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
| | | | | 昭和の日 | | |

2021 5 May

| 日 Sun | 月 Mon | 火 Tue | 水 Wed | 木 Thu | 金 Fri | 土 Sat |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| | 憲法記念日 | みどりの日 | こどもの日 | | | |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 30 | 24 31 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |

写真：国際カリタス総会 Photo:CI General Assembly ©Caritas Internationalis / 国際カリタスの4年間のテーマ(2019-2023)は“One Human Family, One Common Home”(私たちは一つの家族、地球はみんなのいえ)である。



実は、話すのはあなたがたではなく、
聖霊なのだ。
マルコ13・11

“For it will not be you who are speaking but the holy Spirit.”
Mark 13 · 11

2021 6 June

| 日 Sun | 月 Mon | 火 Tue | 水 Wed | 木 Thu | 金 Fri | 土 Sat |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | | | |

2021 7 July

| 日 Sun | 月 Mon | 火 Tue | 水 Wed | 木 Thu | 金 Fri | 土 Sat |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| | | | | 海の日 | スポーツの日 | |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |



わたしが与える水はその人の内で泉となり、
永遠の命に至る水がわき出る。
ヨハネ 4・14b

“The water I shall give will become in him a spring of water welling up to eternal life.”
John 4 · 14b

2021 8 August

| 日 Sun | 月 Mon | 火 Tue | 水 Wed | 木 Thu | 金 Fri | 土 Sat |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 山の日 振替休日 | | | | | | |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

2021 9 September

| 日 Sun | 月 Mon | 火 Tue | 水 Wed | 木 Thu | 金 Fri | 土 Sat |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| | 敬老の日 | | | 秋分の日 | | |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

子供たちを来させなさい。
 天の国はこのような者たちのものである。
 マタイ 19・14



“Let the children come to me, and do not prevent them; for the kingdom of heaven belongs to such as these.”
 Matthew 19 · 14

2021 10 October

| 日 Sun | 月 Mon | 火 Tue | 水 Wed | 木 Thu | 金 Fri | 土 Sat |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 31 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

2021 11 November

| 日 Sun | 月 Mon | 火 Tue | 水 Wed | 木 Thu | 金 Fri | 土 Sat |
|----------|----------|--------------|-----------|----------|----------|----------|
| | 1 | 2 | 3 文化の日 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 勤労感謝の日 | | | | |

闇の中を歩む民は、大いなる光を見
 死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。
 イザヤ9・1



The people who walked in darkness have seen a great light;
 Upon those who lived in a land of gloom a light has shone. Isaiah 9 · 1

2021 12 December

| 日 Sun | 月 Mon | 火 Tue | 水 Wed | 木 Thu | 金 Fri | 土 Sat |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

2022 1 January

| 日 Sun | 月 Mon | 火 Tue | 水 Wed | 木 Thu | 金 Fri | 土 Sat |
|----------|------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | | | | | 1 元日 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 成人の日 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 30 | 24 31 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |



疲れた者、重荷を負う者は、だれでも
わたしのもとにきなさい。休ませてあげよう。
わたしの軛は負いやすく、
わたしの荷は軽いからである。

マタイ 11・28、30

“Come to me, all you who labor and are burdened, and I will give you rest.
For my yoke is easy, and my burden light.” Matthew 11 · 28, 30

2022 2 February

| 日 Sun | 月 Mon | 火 Tue | 水 Wed | 木 Thu | 金 Fri | 土 Sat |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | | | | | 建国記念の日 | |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| | | | 天皇誕生日 | | | |
| 27 | 28 | | | | | |

2022 3 March

| 日 Sun | 月 Mon | 火 Tue | 水 Wed | 木 Thu | 金 Fri | 土 Sat |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | | | 灰の水曜日 | | | |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| | | | 春分の日 | | | |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

事前に当協議会事務局に連絡することを条件に、通常の印刷物を読めない、視覚障がい者その他の人のために、録音または拡大による複製を許諾する。ただし、営利を目的とするものは除く。なお、点字による複製は著作権法第37条第1項によりいっさい自由である。

この小冊子は点訳・録音テープの作成をロゴス点字図書館にお願いしています。2010年1月1日より著作権法が改正され、これまで視覚障がい者のみに貸し出されていた点字図書館の録音図書（テープ・CD）が高齢、病気などの理由で活字の本を読むことが困難な人にも貸し出されることになりました。ご希望の方はロゴス点字図書館（電話：03-5632-4428）までお問い合わせ下さい。

四旬節キャンペーン小冊子 2021年

2021年2月17日 発行 ©カトリック中央協議会 2021年

編集 カリタスジャパン

発行 カトリック中央協議会

〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10

日本カトリック会館内 電話 03-5632-4411

カリタスジャパン 電話 03-5632-4439（直通） FAX 03-5632-4464

E-mail info@caritas.jp URL <https://www.caritas.jp/>

印刷 株式会社 双文社印刷

Biblical Quotations : "New American Bible (Revised Edition)" © 2019-2020 USCCB

表紙写真 : パレスチナ自治区ガザ Cover photo : Gaza, occupied Palestinian territory ©Virginie NGUYEN HOANG/hanslucas.com - Secours Catholique